

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月1日

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6769 URL <https://www.thine.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南 洋一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 山本 武男 TEL 03 (5217) 6660
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,000	△13.0	△201	—	△196	—	△196	—
2023年12月期第3四半期	3,447	△5.9	△29	—	173	△81.0	53	△92.9

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △188百万円 (—%) 2023年12月期第3四半期 73百万円 (△90.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△18.39	—
2023年12月期第3四半期	4.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	9,710	9,027	91.1
2023年12月期	10,250	9,440	89.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 8,846百万円 2023年12月期 9,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年12月期	—	0.00	—		
2024年12月期（予想）				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,668	△7.0	10	—	87	22.3	111	—	10.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) ザイン・ハイパーデータ株式会社、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 3Q	12,340,100株	2023年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	2024年12月期 3Q	1,659,737株	2023年12月期	1,639,037株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 3Q	10,678,578株	2023年12月期 3Q	10,849,971株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、インバウンド需要が好調に推移し、個人消費や企業収益の持ち直しの動きが見られた一方、資源価格の高騰、物価上昇への懸念やウクライナ紛争や中東情勢、中国経済の停滞等の不安定な世界情勢により先行きの不透明感が継続しております。このような環境の下で、当社グループは2024年を目標年次とする中期経営戦略「5G&Beyond-NE」を進めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、30億円（前期比13.0%減）、売上総利益は16億65百万円（前期比4.3%減）となり、前期比で減収となりました。LSI事業においては、中国市場、米国市場等の海外市場において需要の回復傾向がみられ前期より大きく改善し売上を伸展させた一方、国内市場においては当社の主力分野の一つである事務機器市場およびアミューズメント機器市場向けにおいて、一部に改善の兆しはみえるものの事業環境の改善には至らず、依然として顧客の在庫調整等の影響が継続し、全体として前期比15.6%の減少となりました。AIOT事業では、自動販売機、エレベータ遠隔監視用途向け等の通信モジュール製品の出荷は堅調に推移した一方、ドライブレコーダ向け用途等において顧客需要の大幅な減少や、スマートメーター案件等の一部の大口案件の来期以降への後倒し等により、全体として前期比7.9%の減少となりました。

販売費および一般管理費については、中期経営戦略「5G&Beyond-NE」目標の達成に向けた戦略的な研究開発投資（8億97百万円、前期比13.7%増）を行った結果、販売費および一般管理費全体として、18億67百万円（前期比5.5%増）となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業損失は2億1百万円（前期は営業損失29百万円）、減価償却費およびのれん償却費等を考慮しない営業利益（EBITDA※）はマイナス1億29百万円（前期はEBITDA 1億27百万円）、経常損失は1億96百万円（前期は経常利益1億73百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億96百万円（前期は親会社株主に帰属する四半期純利益53百万円）となりました。

また、当社グループは生成AI等の活用が急速に進展する中、経済活動の一層の生産性の向上に貢献するため、AIOT事業の一環としてNVIDIA製GPUを含めた計算資源を搭載するデータサーバーを提供するサーバー事業を開始することとし、ザイン・ハイパーデータ株式会社を2024年6月に設立し事業を開始いたしました。

※ EBITDA (Earnings before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

当社グループでは簡易的に営業利益に減価償却費、のれん償却費を加えて算出しております。

(セグメント別の状況)

当社グループは、LSI事業とAIOT事業を軸として事業活動を推進しており、これらを事業セグメント区分としております。

(単位：百万円)

		2024年12月期 第3四半期	2023年12月期 第3四半期	増減率 (%)
LSI事業	売上高	1,922	2,276	△15.6
	営業利益	△252	△41	—
	EBITDA	△183	13	—
AIOT事業	売上高	1,078	1,170	△7.9
	営業利益	50	12	+302.7
	EBITDA	53	113	△52.7
合計	売上高	3,000	3,447	△13.0
	営業利益	△201	△29	—
	EBITDA	△129	127	—

※セグメント間の取引を相殺消去後の金額で記載しております。

(LSI事業)

当第3四半期連結累計期間のLSI事業の売上高は、中国市場および米国市場等の海外市場において需要の回復傾向がみられ、前期比で大きく改善し売上を伸展させることができましたが、主に日本市場を中心とした当社の主力分野の一つである事務機器市場およびアミューズメント機器市場向けにおいて顧客の在庫調整等の影響が継続し、前期比では15.6%の減少となりました。

産業機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の70%を占めております。主に国内市場の事務機器およびアミューズメント機器向けにおいて、一部に改善の兆しは見えるものの事業環境の改善には至らず、引き続き顧客の在庫調整等の影響が解消されず出荷が低調に推移し、全体で前期比29%の減少となりました。

車載機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の16%を占めております。中国や米国市場において需要回復の傾向がみられ、EVパネル向け新製品等の出荷が増加し、全体として前期比12%の増加となりました。

民生機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の14%を占めております。前期に策定した次世代高速インターフェース標準技術「V-by-One®HS plus Standard」の提供を進め、前期比150%の大幅な増加となりました。これらの結果、LSI事業全体の売上高は19億22百万円（前期比15.6%減）、売上総利益は13億9百万円（前期比2.6%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、中期経営戦略「5G&Beyond-NE」目標の達成に向けた戦略的な研究開発および次期中期経営戦略を含む中長期的な成長に向けた新規技術開発等を積極的に実施しました。EVパネル向け高速インターフェースV-by-One®HS新製品のラインアップ拡充、新規電源製品の開発、次世代PCI Express向け低消費電力・低遅延光半導体技術の開発、スマートモジュール活用ソリューションの開発、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発等を行い、これらの活動により、当第3四半期連結累計期間において研究開発費8億60百万円を計上しました。

これらの結果、LSI事業の当第3四半期連結累計期間における営業損失は2億52百万円（前期は営業損失41百万円）、EBITDAはマイナス1億83百万円（前期は13百万円）となりました。

(AIOT事業)

当第3四半期連結累計期間のAIOT事業の売上高は、自動販売機・エレベータ等の遠隔監視、自動体外式除細動器（AED）等用途向けの通信モジュール製品の出荷は堅調に推移した一方、ドライブレコーダ向け用途等において顧客需要の大幅な減少や、スマートメーター案件等の一部の大口案件の来期以降への後倒し等の影響があり、前期比では7.9%の減少となりました。これらの結果、AIOT事業の売上高は10億78百万円（前期比7.9%減）、売上総利益は3億55百万円（前期比10.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、AI・IoTを活用する新ニーズの拡大や第5世代移動通信（5G）による新しいアプリケーション市場の拡大を見据えたAI・IoTソリューションの開発に取り組み、エッジAI処理用モジュール製品の開発、通信型ドライブレコーダの開発、音声通話機能付きゲートウェイ新製品の開発、スマートIoTルーターの開発等を行い、全体として研究開発費36百万円を計上いたしました。なお、同事業のM&A取得に伴うのれんの償却は2023年度で完了しております。また、先述致しました通り、当社グループはLSI・AIOTに続く第3の事業の柱としてサーバー事業を開始することとし、2024年6月にザイン・ハイパーデータ株式会社を設立いたしました。NVIDIA製GPUであるH100を搭載したAIサーバーを含む各種AIサーバー、データサーバーを日本企業向けに販売して参ります。

これらの結果、AIOT事業の当第3四半期連結累計期間における営業利益は50百万円（前期比302.7%増）、EBITDAは53百万円（前期比52.7%減）となりました。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純損失を1億42百万円計上し、売上債権が3億93百万円減少した一方、棚卸資産が1億46百万円増加し、法人税等を66百万円支払ったことにより2百万円のプラスとなりました。（前期は7億53百万円のプラス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、固定資産の取得69百万円および敷金及び保証金の差入による支出21百万円があったことにより、91百万円のマイナスとなりました。（前期は78百万円のマイナス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、ストックオプションの行使による収入56百万円等があった一方、配当金の支払1億60百万円および自己株式の取得による支出84百万円等により1億61百万円のマイナスとなりました。（前期は1億60百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として2億30百万円減少して当第3四半期連結会計期間末残高は71億46百万円となりました。

当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるように内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期連結業績予想については、2024年2月2日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2024年11月1日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,377,585	7,146,834
売掛金	937,100	538,251
商品及び製品	468,003	590,447
仕掛品	90,718	144,397
原材料	288,040	260,921
その他	303,196	283,236
貸倒引当金	△235	—
流動資産合計	9,464,408	8,964,089
固定資産		
有形固定資産	212,289	183,529
無形固定資産		
その他	69,273	59,614
無形固定資産合計	69,273	59,614
投資その他の資産		
投資有価証券	384,632	377,150
繰延税金資産	28,300	15,978
その他	91,185	110,113
投資その他の資産合計	504,117	503,242
固定資産合計	785,680	746,386
資産合計	10,250,089	9,710,475
負債の部		
流動負債		
買掛金	270,978	243,315
未払法人税等	38,096	2,606
賞与引当金	30,274	72,778
製品保証引当金	2,418	—
その他	330,238	222,513
流動負債合計	672,005	541,214
固定負債		
退職給付に係る負債	24,418	27,640
資産除去債務	26,773	26,941
その他	85,933	87,159
固定負債合計	137,125	141,740
負債合計	809,130	682,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,286,608	1,275,474
利益剰余金	9,032,925	8,676,836
自己株式	△2,355,525	△2,354,609
株主資本合計	9,139,274	8,772,968
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	73,741	73,849
その他の包括利益累計額合計	73,741	73,849
新株予約権	150,128	67,973
非支配株主持分	77,813	112,728
純資産合計	9,440,958	9,027,520
負債純資産合計	10,250,089	9,710,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	3,447,444	3,000,485
売上原価	1,706,950	1,334,971
売上総利益	1,740,493	1,665,513
販売費及び一般管理費	1,769,620	1,867,183
営業損失(△)	△29,126	△201,669
営業外収益		
受取利息	832	1,320
受取配当金	400	400
為替差益	199,129	1,682
補助金収入	—	5,322
雑収入	2,629	9,533
営業外収益合計	202,991	18,258
営業外費用		
支払利息	181	140
創立費償却	—	972
開業費償却	—	5,081
投資事業組合運用損	—	6,840
営業外費用合計	181	13,035
経常利益又は経常損失(△)	173,683	△196,447
特別利益		
新株予約権戻入益	2,480	77,083
特別利益合計	2,480	77,083
特別損失		
製品廃棄負担金	—	23,465
固定資産売却損	373	—
特別損失合計	373	23,465
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	175,790	△142,829
法人税、住民税及び事業税	35,093	33,332
法人税等調整額	73,240	12,322
法人税等合計	108,333	45,654
四半期純利益又は四半期純損失(△)	67,456	△188,484
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,494	7,914
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	53,962	△196,398

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	67,456	△188,484
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,174	108
その他の包括利益合計	6,174	108
四半期包括利益	73,631	△188,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,137	△196,290
非支配株主に係る四半期包括利益	13,494	7,914

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	175,790	△142,829
減価償却費	58,386	72,325
のれん償却額	97,754	—
株式報酬費用	18,882	13,858
新株予約権戻入益	△2,480	△77,083
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,361	42,504
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△152	△235
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,576	3,222
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,426	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	△2,418
投資事業組合運用損益(△は益)	△570	6,840
受取利息及び受取配当金	△1,232	△1,720
支払利息	181	140
為替差損益(△は益)	△175,089	△22,062
有形固定資産売却損益(△は益)	373	—
売上債権の増減額(△は増加)	646,142	393,820
棚卸資産の増減額(△は増加)	134,676	△146,876
その他の流動資産の増減額(△は増加)	2,520	21,890
仕入債務の増減額(△は減少)	57,189	△29,779
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△125,878	△68,500
その他	△4,939	4,407
小計	867,343	67,504
利息及び配当金の受取額	1,283	1,637
利息の支払額	△182	△140
法人税等の支払額	△114,756	△66,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	753,688	2,448
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△51,108	△69,577
敷金及び保証金の差入による支出	△1,023	△21,657
敷金及び保証金の回収による収入	7	231
投資有価証券の取得による支出	△75,000	△42
投資事業組合からの分配による収入	48,937	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,186	△91,046
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△162,735	△160,515
非支配株主への配当金の支払額	—	△3,000
自己株式の取得による支出	—	△84,786
非支配株主からの払込みによる収入	—	30,000
ストックオプションの行使による収入	1,780	56,465
財務活動によるキャッシュ・フロー	△160,955	△161,837
現金及び現金同等物に係る換算差額	178,806	19,683
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	693,352	△230,751
現金及び現金同等物の期首残高	7,302,245	7,377,585
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,995,598	7,146,834

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
日本	1,753,692	1,022,222	2,775,914	—	2,775,914
韓国	74,241	1,775	76,016	—	76,016
台湾	107,331	29	107,361	—	107,361
中国	150,848	146,585	297,434	—	297,434
米国他	190,718	—	190,718	—	190,718
顧客との契約から生じる収益	2,276,832	1,170,612	3,447,444	—	3,447,444
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,276,832	1,170,612	3,447,444	—	3,447,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27	—	27	△27	—
計	2,276,860	1,170,612	3,447,472	△27	3,447,444
セグメント利益又は損失 (△)	△41,635	12,508	△29,126	—	△29,126

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額
	LSI事業	AIOT事業	合計		
売上高					
日本	1,085,375	795,365	1,880,741	—	1,880,741
韓国	96,533	1,760	98,293	—	98,293
台湾	101,242	—	101,242	—	101,242
中国	350,998	280,910	631,908	—	631,908
米国他	288,299	—	288,299	—	288,299
顧客との契約から生じる収益	1,922,449	1,078,036	3,000,485	—	3,000,485
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,922,449	1,078,036	3,000,485	—	3,000,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	562	581	△581	—
計	1,922,468	1,078,598	3,001,066	△581	3,000,485
セグメント利益又は損失 (△)	△252,695	51,025	△201,669	—	△201,669

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。